

【消 防】

予 防

火災予防を推進するため、消防団及び防火関係団体と連携し、住民に対する火災予防思想の普及を図り、火災発生の防止及び火災による死傷者を減少するよう努めました。

また、防火対象物及び危険物施設への立入検査を実施し、消防法令違反を発見した際は改善指導、警告等を行い違反是正の推進に努めました。

さらに、令和2年7月に静岡県吉田町で発生した工場の火災など、社会的影響のある火災を鑑み、管内の大規模な倉庫について緊急査察を行い、関係者に対し火災予防に対する意識を向上させ、類似の火災による被害を防止するよう努めました。

1 防火広報等

秋季と春季の全国火災予防運動期間中は、管内を走行する路線バスの行先表示機による防火広報、宅配業者の協力による活動、消防訓練、街頭広報等を実施し、住民一人一人が普段の生活の中で、防火に対する意識が薄れぬよう、継続して火災予防の対策を構築できるよう努めました。

(1) 火災予防運動等実施期間

- ア 危険物安全週間 令和2年6月7日から令和2年6月13日まで
- イ 秋季全国火災予防運動 令和2年11月9日から令和2年11月15日まで
- ウ 春季全国火災予防運動 令和3年3月1日から令和3年3月7日まで

(2) 火災予防運動等実施期間中の実施内容

- ア 管内を走行する路線バスの行先表示機による防火広報
- イ 女性防火クラブ、幼年消防クラブ、少年消防クラブ等による防火広報
- ウ ラジオ局、ケーブルテレビ局等を活用した防火広報
- エ 本組合ホームページ、構成市町広報紙等による防火広報
- オ 危険物施設へののぼり旗の掲揚及び危険物事故防止の広報
- カ 宅配業者の協力による広報活動
- キ 商業施設における管内放送を使用した広報
- ク 防火ポスター展（幼年消防クラブ）
- ケ 新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により中止した事業
 - (ア) 高齢者世帯及び一般世帯への住宅防火訪問調査
 - (イ) 小学生を対象とした防火ポスターコンクール
 - (ウ) 消防フェア（イシバシプラザ）

2 消防設備

建物の新築、増・改築、大規模な模様替え等の建築確認申請に伴う消防同意及び消防法令に基づく消防用設備等の設置指導を実施しました。

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	増減
消防同意（建築物の調査及び安全指導）	452	361	△91
消防法令に基づく消防用設備等の完成検査	908	734	△174

3 査察

防火対象物及び危険物施設の立入検査を実施しました。

また、利用者及び防火対象物関係者の防火安全に対する認識を高めていただくことを目的に、重大な消防法令違反のある防火対象物についてホームページにて公表する「違反对象物公表制度」により、違反对象物を利用者に周知するとともに、これらの防火対象物に対し早期に是正するよう重点的に指導し、防火安全対策の推進を図りました。

(1) 立入検査（防火対象物）

(単位：件)

市 町	令和元年度	令和2年度	増減
沼 津 市	877	660	△217
伊 東 市	621	243	△378
伊 豆 市	265	95	△170
伊豆の国市	303	180	△123
東伊豆町	132	54	△78
函 南 町	162	65	△97
清 水 町	168	85	△83
合 計	2,528	1,382	△1,146

(2) 立入検査（危険物施設）

(単位：件)

市 町	令和元年度	令和2年度	増減
沼 津 市	23	13	△10
伊 東 市	47	43	△4
伊 豆 市	21	22	1
伊豆の国市	21	10	△11
東伊豆町	7	6	△1
函 南 町	8	2	△6
清 水 町	5	0	△5
合 計	132	96	△36

(3) 違反対象物公表制度

公表した防火対象物数 2件

是正された防火対象物数 7件

4 危険物

消防法令に基づき製造所、貯蔵所及び取扱所の危険物施設の許可、完成検査等を実施しました。

(1) 危険物施設

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	増減
設置・変更許可	139	119	△20
設置・変更完成検査	136	107	△29
仮使用承認	98	80	△18
水圧（水張）検査	5	4	△1
仮貯蔵・仮取扱承認	24	14	△10
合 計	402	324	△78

(2) 煙火消費

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	増減
許可件数	72	44	△28
届出件数	86	21	△65

※打ち上げ花火などの煙火を消費する場合には、その「種類」及び「数量」により県知事から権限移譲を受けた市町村長等の許可が必要となります。
許可未済の消費の場合には、消防長に届出が必要となります。

5 火災

令和2年中における火災件数は124件で、前年と比較すると35件減少し、火災の種別ごとに見ると、「建物火災」が65件で全体の52.4%と最も多く、次いで枯草などが燃える「その他の火災」が41件発生しました。

火災による死者は12人で、前年と比較すると6人増加し、主な出火原因としては、「たばこ」が22件（17.7%）、「放火・放火の疑い」が17件（13.7%）、「たき火・火入れ・取灰」が16件（12.9%）となっております。

(1) 火災件数

(単位：件)

市 町	令和元年中	令和2年中	増減
沼 津 市	85	59	△26
伊 東 市	18	26	8
伊 豆 市	16	16	0
伊豆の国市	15	7	△8
東伊豆町	6	5	△1
函 南 町	14	7	△7
清 水 町	5	4	△1
合 計	159	124	△35

(2) 火災種別（ ）内、令和元年中との増減

(単位：件)

市 町	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
沼 津 市	33(△14)	2(2)	6(△4)	0(0)	18(△10)
伊 東 市	14(3)	0(0)	5(3)	0(0)	7(2)
伊 豆 市	6(△5)	1(1)	2(1)	0(0)	7(3)
伊豆の国市	4(△4)	0(△2)	0(△1)	0(0)	3(△1)
東伊豆町	3(△1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(△1)
函 南 町	3(△5)	0(△1)	1(△1)	0(0)	3(0)
清 水 町	2(△1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
合 計	65(△27)	3(0)	15(△1)	0(0)	41(△7)

(3) 焼損床面積

(単位：㎡)

市 町	令和元年中	令和2年中	増減
沼 津 市	3,874	850	△3,024
伊 東 市	194	1,297	1,103
伊 豆 市	918	652	△266
伊豆の国市	1,071	66	△1,005
東伊豆町	0	108	108
函 南 町	802	7	△795
清 水 町	50	153	103
合 計	6,909	3,133	△3,776

(4) 損害額

(単位：千円)

市 町	令和元年中	令和2年中	増減
沼 津 市	1,070,496	65,808	△1,004,688
伊 東 市	6,405	71,321	64,916
伊 豆 市	41,712	36,507	△5,205
伊豆の国市	50,573	4,669	△45,904
東伊豆町	77	2,821	2,744
函 南 町	28,171	703	△27,468
清 水 町	5,913	28,644	22,731
合 計	1,203,347	210,473	△992,874

(5) 死傷者（死亡）

(単位：人)

市 町	令和元年中	令和2年中	増減
沼 津 市	16 (1)	16 (5)	0 (4)
伊 東 市	4 (2)	8 (3)	4 (1)
伊 豆 市	3 (1)	4 (2)	1 (1)
伊豆の国市	1 (0)	2 (1)	1 (1)
東伊豆町	2 (0)	2 (1)	0 (1)
函 南 町	5 (2)	0 (0)	△5 (△2)
清 水 町	2 (0)	1 (0)	△1 (0)
合 計	33 (6)	33 (12)	0 (6)

(6) 出火原因別件数

(単位：件)

区分	たばこ	放火・放火 の疑い	たき火・火 入れ・取灰	こんろ・ かまど	ストーブ・ こたつ	その他	不明	合計
令和元年中	14	28	20	13	9	68	7	159
令和2年中	22	17	16	10	5	50	4	124
増 減	8	△11	△4	△3	△4	△18	△3	△35

警 防

1 消防車等の配備

沼津北消防署に救助工作車（Ⅲ型）1台、消防本部に査察車2台を更新配備しました。

また、伊東消防署八幡野分署に水難救助車1台を新規に配備し、田方北消防署には、総務省消防庁の国有財産等の無償使用事業により、重機及び重機搬送車1台配備しました。

令和3年3月31日現在

方面	署 所	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ付水槽車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	高規格救急自動車	救助工作車	指揮車	多機能型災害対応車	水難救助車	重機搬送車	人員搬送車	火災調査車	搬送車	救急普及啓発広報車	その他の車両	合計
本 部	企画課																	2	2
	総務課																	1	1
	予防課													1				3	4
	警防課							2										3	5
	救急課															1		1	2
	通信指令課																	1	1
第 1 方面	沼津北消防署		1	1			1	3	1	1				1		2		1	12
	原分署	1	2		1			1								2			7
	沼津南消防署	1	2	1	1	1		2	1	1						2		5	17
	静浦分署		1					1			1					1			4
	内浦出張所		1															2	3
	大平出張所		1															1	2
	西浦出張所		1					1										1	3
	戸田出張所	1						1										1	3
	清水町消防署	1	1					2	1							1		1	7
第 2 方面	田方中消防署		1	1	1	1		2		1	1					1		4	13
	田方北消防署	2						1	1				1	1		1		1	8
	田方南消防署	3						2	1							1	1	2	10
	西出張所		1					1										1	3
第 3 方面	伊東消防署	2	1		1		1	2	1	1				1		3		3	16
	八幡野分署	1						1				1							3
	宇佐美出張所		1					1											2
	吉田出張所	1						1											2
	東伊豆消防署	1	1				1	2										2	7
	合 計	14	15	3	4	2	3	26	6	4	2	1	1	3	1	15	1	36	137

※その他の車両とは司令車、連絡車及び原付バイク

2 出動件数

救助出動件数は、次のとおりです。

救助出動件数

(単位：件)

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
元 年 中	8	81	28	20	3	85	0	0	80	305
2 年 中	13	64	26	1	4	78	0	0	81	267
増 減	5	△17	△2	△19	1	△7	0	0	1	△38

救 急

1 出動件数

救急出動件数は、次のとおりです。

救急出動件数

(単位：件)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
元年中	167	13	42	1,385	166	122	3,752	66	158	15,072	3,867	24,810
2年中	155	1	40	1,278	156	82	3,530	45	191	13,250	3,286	22,014
増減	△12	△12	△2	△107	△10	△40	△222	△21	33	△1,822	△581	△2,796

2 現場到着時間及び病院収容所要時間

救急自動車による現場到着時間及び病院収容所要時間は、次のとおりです。

(単位：分)

		入電～現場到着	現着到着～搬送開始	搬送開始～病院到着	合計
沼津市	元年中	8.6	20.5	11.4	40.5
	2年中	9.2	22.4	11.4	43.0
伊東市	元年中	9.4	16.7	15.5	41.6
	2年中	9.9	17.5	15.5	42.9
伊豆市	元年中	11.7	20.1	18.3	50.1
	2年中	12.7	22.3	18.1	53.1
伊豆の国市	元年中	8.2	19.9	11.6	39.7
	2年中	8.7	22.0	11.8	42.5
函南町	元年中	11.2	21.0	14.9	47.1
	2年中	11.1	22.5	14.2	47.8
東伊豆町	元年中	12.0	20.1	24.5	56.6
	2年中	12.5	23.8	26.8	63.1
清水町	元年中	7.3	20.0	10.4	37.7
	2年中	7.6	21.5	9.8	38.9
全体	元年中	9.8	19.8	15.2	44.8
	2年中	10.2	21.7	15.4	47.3

3 救急教育

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部を除き病院実習は実施せず、救急救命士の研修として、各種研修会を実施しました。

また、応急手当普及啓発活動についても、職務上必要な職員への講習会を除き、住民に対する救急講習の開催を中止しました。

- ・ 救急救命士研修（対象者：84人）一人平均 67時間

4 主な訓練等

救急総合想定訓練

(1) 実施日 令和2年10月21日（水）から令和2年10月23日（金）まで3日間

(2) 場所 田方中消防署

(3) 訓練参加者 141人 訓練運営者 28人 延べ169人

(4) 内容

ア 新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全な救急活動

イ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた外国語対応活動

ウ プレアライバルコール等、救急活動時間短縮に向けた活動ほか

通 信

119番通報受信概況

令和2年中における119番受信件数は29,939件(前年比△4,784件)で、1日平均81.8件を受信している。火災・救急等の災害通報は、23,353件で全体の78.0%を占め、緊急性のない問合せ等については6,586件で22.0%である。

携帯電話からの通報は12,287件で41.0%を占め、一般電話等からの通報は7,604件で25.4%、IP電話からの通報は8,584件で28.7%である。

なお、前年と比較すると、携帯電話からの通報は1,301件減少、一般電話等からの通報は2,051件減少、IP電話からの通報は1,251件減少した。

[119番通報受信状況]

(単位：件)

災害種別		合計	災 害 通 報					緊急性のないもの			
			小計	火災	救急	救助	他の災害	小計	問合せ	間違い等	訓練他
合 計	R2年	29,939	23,353	264	21,412	273	1,404	6,586	2,425	1,734	2,427
	R元年	34,723	27,776	380	24,605	496	2,295	6,947	2,591	1,776	2,580
増 減		△4,784	△4,423	△116	△3,193	△223	△891	△361	△166	△42	△153
携帯電話	R2年	12,287	9,394	142	8,658	161	433	2,893	1,418	1,099	376
	R元年	13,588	10,757	209	9,530	244	774	2,831	1,488	1,040	303
増 減		△1,301	△1,363	△67	△872	△83	△341	62	△70	59	73
一般電話	R2年	7,604	5,285	39	5,046	32	168	2,319	434	414	1,471
	R元年	9,655	7,075	60	6,395	162	458	2,580	459	492	1,629
増 減		△2,051	△1,790	△21	△1,349	△130	△290	△261	△25	△78	△158
IP電話	R2年	8,584	7,512	48	7,304	28	132	1,072	465	164	443
	R元年	9,835	8,545	59	8,276	35	175	1,290	539	197	554
増 減		△1,251	△1,033	△11	△972	△7	△43	△218	△74	△33	△111
上記以外	R2年	1,464	1,162	35	404	52	671	302	108	57	137
	R元年	1,645	1,399	52	404	55	888	246	105	47	94
増 減		△181	△237	△17	0	△3	△217	56	3	10	43

[市町別受信状況]

(単位：件)

市町別	災害通報			緊急性のないもの		
	R2年	R元年	増 減	R2年	R元年	増 減
合 計	23,353	27,776	△4,423	6,586	6,947	△361
沼津市	9,931	11,555	△1,624	2,955	3,043	△88
清水町	1,484	1,705	△221	286	303	△17
函南町	1,733	1,989	△256	336	396	△60
伊豆の国市	2,510	3,279	△769	525	544	△19
伊豆市	1,755	2,270	△515	491	504	△13
伊東市	4,854	5,729	△875	1,316	1,555	△239
東伊豆町	997	1,144	△147	323	398	△75
管外	89	105	△16	354	204	150